



発行 東海大学付属大阪仰星高等学校中等部
東海大学付属大阪仰星高等学校
発行者 校長 塚野直樹
〒573-0018 枚方市桜丘町60-1
電話 (072)849-7211

第93号



失われた30年

高校教務主任 池田英樹

本校は、高校生急増期を控えた1983年(昭和58年)に、東海大学の付属高校として大阪府枚方市に開校しました。今年度は開校43年目を迎え、昨年度末40期生が本校を巣立ち、卒業生の人数は1万5千人を超えました。スポーツ分野は言うまでもありませんが、経済、政治、教育、法曹、医学など、多方面で卒業生が活躍しています。

昨年度、開校当時より本校で勤務されていた小寺前校長がご退職され、現在、1期生入学時より本校で勤めている教職員はいなくなりました。40年余りの歴史の中で、様々な苦難を乗り越えながら、学校として成長してきたはずです。そんな本校が歩んできたほとんどの時代は、「失われた30年」と呼ばれています。これは、1990年代初頭のバブル経済崩壊後、日本経済が長期にわたり世界経済の成長から取り残された時代を指す言葉です。企業や銀行の不良債権問題、デフレーション、金融政策の遅れ、人口減少など、経済を停滞させた要因は様々です。リーマンショックや東日本大震災、コロナ禍なども大きな影響を与えたでしょう。

私は、2000年に大学に入学しました。当時、世の中では携帯電話が普及し始め、大人が一人一台、携帯電話を持つようになった時代でした。今ではガラケーといわれる機種ですが、現在と大きく違うのは、この当時の携帯電話のほとんどは日本企業のものでした。SONY、Panasonic、SHARP、NEC、TOSHIBA、HITACHIなど、様々な企業が競って新機種の携帯電話を開発していました。私は、docomoのN502という機種を持っていました。初めて持った携帯電話でした。折りたたみができる機種で、とてもかっこよかったです。

現在はどうかでしょうか?日本人のスマートフォンの世帯保有率は9割を超えています。日本国内でのスマホシェアはAppleが6割を超え、SHARP、Google、Samsungと続きます。世界のシェア率を見ても、日本のスマホは欧米諸国のみならず、韓国・中国をはじめとするアジア諸国に対しても、完全に後れを取っています。パソコン・AIの開発やインターネット事業において、日本の優位性は見えません。過去に大きく進歩した日本のオーディオ機器も、時代の流れもあり現在は影を落としています。世界的に戦えている産業は、やはり自動車産業ですかね。(私の主観も入っておりますが、ご容赦ください。)

個人的には、日本社会の「失われた30年」の大きな要因は、それまでの日本を支えてきた科学技術の開発分野で、世界に遅れを取ったことだと思っています。では、その原因は何なのでしょう。子どもたちの理系離れでしょうか。本校では理系を選択する生徒は少なくなっている傾向がありますが、大学入試センター発表の大学入学共通テスト受験者数を見ると、全国的な理系受験者の人数は決して少なくなっています。では、国の政策の不備で、科学が軽視されているのでしょうか。細かい政策の賛否は、様々な意見があるでしょうが、日本の国立大学の募集定員に目を向けてみましょう。理系学部の方が文系学部より1.5倍ほど多く、東大、京大などの旧帝大と言われる大学群では2.1倍となっております。国が理系の人材を育成しようという姿勢の表れだと感じています。近年の入試状況でも、「文低理高」の状態といわれており、理系学部の入試難易度は上がっている状態です。

世界で負けない科学技術の開発力の低下。由々しき問題ですね。私はその問題の原因は、やはり教育にあると思っています。日本では中学校、高等学校、大学へ進学する際に受験をする機会が多いです。入試を突破するには、問いに対して正しく正解を出すトレーニングをする必要があります。そのためには、教科書に書いてることをとにかく頭に詰め込む必要があり、それを上手にできる人間が難易度の高い大学に進学できます。このシステムは、日本において戦後から現代に至るまで、変化はありません。

文科省は思考力を問うような問題を増やそうとしていますが、そのために大学入試の問題は年々難しくなっています。科目数も30年前より増えているため、入試を突破するための詰め込むべき知識が増えており、その行為を学習としています。

そのような学習方法では真の思考力は身に付かないと思います。習得した知識を表現すること、つまりアウトプットすることが必要です。新学習指導要領では、高校生に『総合的な探究の時間』を課すことを必須となりました。本校でも、1年次に『基礎探究』、2年次に『発展探究』の授業を設定しています。発展探究では生徒と教員のゼミ形式で、自らの問いに対し、探究活動を深め、ゼミ内で発表する形式の授業を展開しています。課題の設定⇒情報の収集⇒整理・分析⇒まとめ・表現というサイクルを繰り返すことで、一つの疑問を解決するための知識や発想力が身に付きます。知識の習得はもちろん大切ですが、そのようなアウトプットを大切にすることで、自分の考えを具現化できる力が身に付き、その能力が今後社会で活躍するときに役に立つと信じています。

話が色々な方向に向きましたが、私は本校の教員として、または理科の教員として、日本の科学技術の発展に少しでも貢献したいと考えています。そして、仰星の生徒とともに成長しながら仰星高校の次の30年に向けて歩み続けたいと思っています。

夏休みの行動にご注意を！

保護者の皆様へ

スマートフォンの普及にともない、生徒達が入手する情報はまさに多種多様となっています。本校においては、二つの側面で保護者の皆様にもご注意いただきたいと考えています。

一つ目は、青少年におけるソーシャルメディア利用の拡大についてです。青少年が影響やリスクを考慮することなく、安易な発言や画像・動画の投稿、プライバシーに係わる情報等を発信することにより、ネット上での炎上や犯罪被害につながる問題が多発しています。本校においても生徒指導部や情報管理室からの注意喚起、講演等による啓発活動など、様々な方法で生徒に安易な使用の危険性を訴えております。ご家庭においても是非スマートフォンの使用に関するルール決めをしていただくようお願いいたします。

もう一つは依存度の高さです。ソーシャルメディアやゲームアプリなどの長時間利用により、睡眠不足・体調不良等を誘引する恐れがあります。やはり生徒が使用する情報機器に関しては、使用時間の制限やフィルタリング等も含め、ご家庭におけるルール決めを重ねてお願いいたします。

最後に、夏休みは生徒達も気が緩みがちになるかと思われます。興味本位で繁華街等のにぎやかな場所に出入りし、思わぬ事件・事故に巻き込まれてしまい、取り返しのつかないことにもなりかねません。また、そのような場所では違法薬物等が出回り、使用した者による重大な事件の発生も新聞・ニュース等で報じられています。そのようなことにならないよう、言葉巧みに近づき勧められるものに手を染めることのないよう、普段から生徒達の状況を十分に把握していただきたいと思います。

生徒達が一人で悩んでいるような場合は一声かけていただき、話を聞いてあげてください。お困りの場合は、学校や警察にご相談してください。生徒達が有意義な高校生活を過ごせるよう、保護者の皆様と学校で連携し、生徒達をサポートしていきたいと考えています。ご協力よろしくようお願いいたします。

中等部 夏期特別講座授業

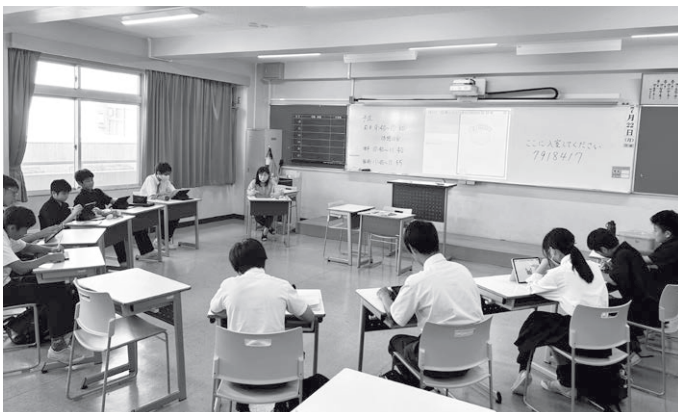
● 7・8月夏期特別講座

7月22日(火)～25日(金)、8月20日(水)・21日(木)の6日間、夏期特別講座を実施いたします。全コースとも必修となっており、年間の授業時間数にも含まれます。この講座が、夏期休暇中の継続した学習習慣に繋がることを期待しています。特に中学3年生にとっては、高校進学に向けて大切な時期です。この授業で前期の復習をしっかり行い、後期に繋がるように実力アップに努めてください。

● 7月23日(水)「探究講座」開講

7月23日(水)一日限定で、今年度も探究講座を開講いたします。探究講座は、「日常の課題・疑問を学問の視点からひも解く」ことがテーマで、「探究することの楽しさ」を感じてもらえるような内容になっています。中・高の教員が連携体制で開講することも特色になっており、毎年とてもユニークな授業が行われています。

この機会に、生徒たちが知的好奇心を高め、その後の学習モチベーションの向上に繋げてもらえること、そして「探究」を一足早く経験することによって高校の「探究」の授業で活躍してくれることを期待しています。



中等部 研修旅行

1年生 三保研修(静岡)・・・6月18日(水)～20日(金) 2泊3日

東海大学湘南キャンパス・静岡キャンパスを訪れ、水圧の実験などの体験学習のほか、大学の先生方による講義や施設見学など、東海大学の付属生として、見聞を広げることができました。また、三保の松原など建学の歌の歌詞に含まれる地を訪れ、建学の精神に触れることができました。

2年生 九州研修(熊本県)・・・6月18日(水)～20日(金) 2泊3日

今年度は九州の東海大学阿蘇くまもと臨空キャンパスを訪れ、ガラス張りの開放的な講義室や宇宙情報のデータ管理を行う施設などを見学しました。その後、SDGs学習として、農学部教授、阿部 淳先生の「薬品や化学肥料に過度に依存しない、持続可能な栽培方法や農作物の生理生態について」という講義を受講しました。夕方からは民泊を体験し、それぞれ家族の一員として一緒に作業を手伝いながら、各家庭でのSDGsに対する取り組みなどを学ぶことができました。その他、ラフティング体験や熊本城見学、熊本市内散策といろいろ楽しみ、充実した研修旅行になりました。

3年生 ハワイ語学研修・・・6月16日(月)～23日(月) 7泊8日

ハワイ東海大学インターナショナルカレッジでの研修に参加し、英会話やアメリカ文化、スピーチ、ハワイ文化、フラダンスなどを学びました。現地の先生と英語でやり取りでき、とてもよい経験になりました。マカプウではハイキングをして、美しい景色を見ることができました。アラモアナショッピングセンターやワイキキではハワイの雰囲気を感じ、パールハーバーでは平和について学びました。ワイマナロビーチでのボディボードや、ポリネシアン・カルチャーセンターでの文化体験も楽しかったです。

生徒たちはこの研修を通して英語に自信が付き、たくさんの思い出をつくることができましたと思います。

2025年度 星河祭(体育の部：10/2(木) 文化の部：10/4(土)・5(日))

「星河祭」と呼ばれる体育祭・文化祭が今年度も実施されます。もともとは学園全体で使われている「建学祭」という名称でしたが、開校4年目に生徒の発案により「星河祭」という呼称が使われるようになりました。以来、私たちは「汝の希望を星につなげ」という建学の四訓の一つと、枚方・交野が古来「天の川伝説」の地であることを見事に掛け合わせたこの素敵な呼称に愛着を覚え、毎年わくわくするようなお祭を開催してきました。

10/2(木)開催予定の体育の部に関しては通常を開催しております。

10/4(土)、10/5(日)開催予定の文化の部については、1日目(10/4)は、入場者を限定した形で開催予定です。2日目(10/5)については、生徒1名につき1家族様ご招待の開催を計画しております。加えて、昨年に引き続き、地元の飲食店の出店も企画中です(6/23現在)。

少しでも生徒達の成長を促すことができるよう、自ら企画し、自ら楽しみ、自ら成し遂げることを目指し、学校全体で生徒をサポートしていきたいと考えております。保護者の皆様方においては、今年度の開催についての趣旨を何卒ご理解いただき、生徒達の星河祭に対する活動にご声援をいただければと存じます。どうぞよろしく願いいたします。



研究部からの報告

研修旅行

本校では例年、高校2年次に実施される研修旅行。「team Gyoseiの学び」に示される力（自主性・行動力、グローバルな視野、課題発見・解決力、多様性を受容できる力）を持つ人物を育てる試みとして、仰星の研修旅行は「生徒自身が目的と行き先を考え、決定する」スタイルとなり、今年が3年目です。「仰星オリジナル」の研修旅行を企画・実行してきた40期・41期の先輩たちの旅のノウハウを引き継ぎ、42期生は以下5コースの旅を計画中です。

- ①オーストラリア（自然あふれるオーストラリアで環境と異文化を学ぼう）
- ②シンガポール（美しい都市と自然から環境問題を学ぼう）
- ③フィンランド（世界一幸せな国の広大な自然の中で環境問題を学ぼう）
- ④パラオ（美しい海と平和について学び、未来につなごう）
- ⑤北海道（自然豊かな北海道で環境問題を学ぼう）

「自主性・グローバルな視野・課題発見・多様性」という観点をベースに、どこに行って何を学ぶのか。それぞれのコースの研修旅行委員が中心となり、それぞれの思いを込めて旅のプランの細部にまで検討が進んでいます。この旅で得られる様々な経験や知見は、42期生の更なる成長を促すきっかけになることでしょう。42期生に続き、43期生（現高1）の「旅」作りもすでに始まっています。4月に「SDGsカードゲーム」に取り組んだ後、「43期生が関心のあるSDGsのGoal」について考えるクラスワークショップを行い、旅のテーマの元となる「43期生の意見」が集まりました。集まった意見は各クラスのSDGs委員によって集約され、「旅」の大まかな指針となります。そして6/26には「旅の目的と行先」について(株)JTB協賛による学年ガイダンスを経て、具体的な検討段階に入ります。40期から42期に至る3年間のノウハウを受け継ぎ、43期の「旅」作りは更に加速していきます。

「生徒自身が決定する研修旅行」は仰星の新たな伝統の一つとして進化を加速中です！

進路行事

進路指導部

(1)高校1・2年 進路 到達度テスト 予定

1. 実施日：2025年8月27日(水)
2. 内 容：英(50分)・数(50分)・国(50分)

(2)2025年度 大学入学共通テスト 説明会 予定

1. 実施日：2025年9月4日(木) 放課後・本校講堂
2. 学 年：高校3年
3. 内 容：願書配布、出願等についての説明
4. 大学入学共通テスト受験希望者は、必ず参加のこと。

注：今年度から出願はWEBに変更になるなど、昨年度とは違いが多くありますので、1科目でも受験を考えている人は必ず出席してください。

(3)卒業生講演会

1. 実施日：2025年9月11日(木) 5・6限
2. 学 年：高校1年 中等部3年(5限のみ)
3. 内 容：自分自身の進路について考え、明確な将来像を描くための一助として、各界で活躍する本校の卒業生を講師として、実社会で働く喜びと苦勞、学校生活で磨いておくべき資質等について直接お話いただく機会を設けています。

生徒たちは、自分自身の希望に合わせて、参加する講話を決める形になっております。実際に社会で活躍する先輩の話聞く機会は、貴重なものです。自分のキャリアデザインをより豊かにするために、しっかりと活用してほしいと思います。

(4)高校3年 第1回 ベネッセ・駿台マーク模試 予定

1. 実施日：2025年9月18日(木)

19日(金) ※6教科受験の生徒のみ

2. 内容：国語<200点・90分>・数学①②<各100点・①70分、②70分>・英語(筆記)<100点・80分>・英語(リスニング)<100点・30分>・地歴・公民<各100点・各60分>・理科<各100点・各60分>・情報<100点・60分>

3教科3科目～6教科8科目より個人選択受験

スクールカウンセラーからのメッセージ

夏休みが始まります。特別講座や三者面談、クラブのある人と、登校する日は続きますが、夏休みを“目指して”“一区切り”に考えていた人も多いのではないのでしょうか。どうか充実した夏休みを過ごしてくださいね。そして、長い休みが続くと、いつものペースに戻すのに少し時間がかかる人もいます。夏休み明けに、なかなか学校に気持ちが向かないな、登校するのがしんどいな、ということがあれば一度スクールカウンセラーに相談してください。

スクールカウンセラー 木曜日 西村 恭子
土曜日 小川 真理

2026年度入試に向けた 本校の生徒募集イベント

本校では、受験生や保護者のみなさまに本校の魅力をより詳しく知っていただくために、生徒による学校説明や施設案内、座談会など、趣向を凝らした説明会を開催しています。オープンスクールでは、授業やクラブ活動などを体験できます。また、中等部ではプレテストを実施し、入試に向けた力試しにも挑戦できます。

入学試験においては、中・高ともに英検の資格を持っていると、取得級によって優遇措置が適用される制度もあります。下記の日程で入試イベントを実施いたしますので、ご兄弟の方のみならず、ご親戚やお知り合いの方にご紹介いただければ幸いです。

生徒募集対策室(狩谷・西・南・菊池・阿部) Tel:072-849-7211 Email:gyosei_pr@tokai.ac.jp

中等部		高校	
入試説明会	9月6日(土) 14:00	学校説明会	8月23日(土) 14:00
	11月1日(土) 9:30 (第2回プレテストと並行実施)	入試説明会	11月22日(土) 14:00
	11月15日(土) 14:00	イブニング個別説明会	9月17日(水) 18:00
第2回クラブ体験週間	9月8日(月)～13日(土)	オープンスクール	10月26日(日) 14:00
イブニング個別説明会	9月17日(水) 18:00	五ツ木模試連携説明会	12月14日(日) 9:30 (保護者対象:メディアセンター)
第2回オープンスクール	10月26日(日) 9:30		
第1回プレテスト	8月23日(土) 10:00	入試直前イブニング 個別相談会(中・高とも)	12月1日(月)～6日(土) および12月8日(月)～13日(土) 18:00まで
第2回プレテスト	11月1日(土) 8:50		
Gyosei Meetingフェス ～在校生との座談会～	2026年3月28日(土) 10:00		

*各入試イベントは、本校ホームページ等を通じて詳細をお伝えする予定です。
(いずれもホームページより事前予約が必要です)

*中等部第1回プレテストは、国語と算数の2科目のみとなります。

中等部第2回プレテストは、A日程入試本番と同様の形式・試験科目で行います。

7月～9月行事予定

中等部

7月7日(月)	2～4限授業	8月21日(木)	夏期特別講座(後期・3限×60分)
7月8日(火)	前期期末試験		漢字検定(希望者：午後)
7月9日(水)	前期期末試験	8月22日(金)	自宅学習
7月10日(木)	前期期末試験	8月23日(土)	自宅学習
7月11日(金)	前期期末試験		中等部第1回ブレテスト(10：00～研修棟)
7月12日(土)	自宅学習		高校学校説明会(14：00～講堂)
	中等部夏のオープンスクール(9：30～)	8月25日(月)	①全校集会・②LHR(放課)
7月14日(月)	自宅学習	8月26日(火)	1～4限授業
7月15日(火)	自宅学習	8月27日(水)	全学年キャリア教育プログラム(午前)
7月16日(水)	答案返却	8月28日(木)	平常授業開始
7月17日(木)	自宅学習	9月1日(月)	朝礼
7月18日(金)	自宅学習	9月1日(月)～20日(土)	教育実習
7月19日(土)	全校集会・三者面談	9月6日(土)	40分×4限授業
7月21日(月)	海の日		中等部第1回入試説明会(午後)
7月22日(火)	夏期特別講座(前期・3限×60分)	9月10日(水)	夏期課題試験(五ツ木模試)6限授業
	三者面談(午後)	9月11日(木)	3年卒業生講演会聴講(5限)
7月23日(水)	探究講座(午前)	9月14日(日)	五ツ木模試会場
	三者面談(午後)	9月15日(月)	敬老の日
7月24日(木)	夏期特別講座(前期・3限×60分)	9月23日(火)	秋分の日
	2年保健講話(3限メディア)	9月29日(月)	合唱コンクール学年リハーサル
	三者面談(午後)		(1限3年・2限2年・3限1年)
7月25日(金)	夏期特別講座(前期・3限×60分)		全体リハーサル(午後)
8月11日(月)	山の日	9月30日(火)	合唱コンクール(午前)
8月20日(水)	夏期特別講座(後期・3限×60分)		体育の部準備(午後)

高等学校

7月3日(木)	2年いのちのお話(6限講堂)	8月23日(土)	中等部第1回ブレテスト(10：00～研修棟)
7月7日(月)	前期期末試験	8月25日(月)	全校集会・LHR(放課)
7月8日(火)	前期期末試験		前年度卒業生講演会(1年英数)
7月9日(水)	前期期末試験		中等部第1回ブレテスト予備日(研修棟)
7月10日(木)	前期期末試験	8月26日(火)	1～4限授業
7月11日(金)	前期期末試験	8月27日(水)	1～4限授業
	夏休み前クラブ健康相談(13：15～)		1・2年到達度テスト(終了後放課)
7月12日(土)	自宅学習	8月28日(木)	平常授業開始
7月14日(月)	自宅学習	8月30日(土)	保護者代表幹事会③(14：00～)
7月15日(火)	自宅学習	9月1日(月)～20日(土)	教育実習
7月16日(水)	12：50答案返却	9月3日(水)	音楽鑑賞会(シンフォニーホール)
	探求ノート・面談準備	9月4日(木)	2年進路LHR(6限講堂)
7月17日(木)	自宅学習		3年共テ説明会(放課後、講堂)
7月18日(金)	自宅学習	9月6日(土)	40分×4限授業
7月19日(土)	全校集会・英数特進コース集会(各学年)		中等部第1回入試説明会(午後)
	三者面談	9月11日(木)	1年卒業生講演会(5・6限)
	2年追試・補填オリテ(化学基礎)	9月14日(日)	五ツ木模試会場
7月21日(月)	海の日	9月15日(月)	敬老の日
7月22日(火)	三者面談	9月18日(木)	3年ベ駿マーク模試
7月23日(水)	三者面談	9月19日(金)	3年ベ駿マーク模試
7月24日(木)	三者面談		(6教科受験者・1・2限)
7月25日(金)～31日(木)	夏期特別講座	9月23日(火)	秋分の日
7月31日(木)	2年追試(化学基礎)	9月30日(火)	1～4限授業
8月11日(月)	山の日		体育の部準備
8月18日(月)～21日(木)	夏期特別講座		

編集後記

早いもので、夏休みがやってきました。新年度が始まってから4月から7月まで、どのような学校生活を送れたでしょうか。少し振り返ってみましょう。「今」という時間は、どのように過ごしても人生で一度きりです。長期休暇中も、勉強、部活動、家庭生活など、人それぞれに打ち込むものは異なりますが、計画を立てて、日々を充実させていきましょう。今年の夏も猛暑が予想されています。熱中症など、体調管理には十分気を付けて過ごしてください。